

岡部宿大旅籠柏屋の活性化に関する研究

静岡産業大学 情報学部 小出ゼミ

指導教員：教授 小出雅俊

参加学生：坂下大智、望月峻介、勝又俊幸

草垣光希、齊藤由華、鈴木雅也

高木僚太、八木済、シュウ亜蘭

1. 研究の概要

藤枝市岡部町にある大旅籠柏屋は、国の登録有形文化財であるが、現在は資料館として運営されている。その施設の運営状況を把握した上で、その抱える問題点を抽出し、分析を加えて、課題を検討し改善策を作成した。藤枝市民をはじめとして、その認知度を向上させるとともに、特に若者を中心とした集客増を目指す。認知度の向上、若者の来客数の増加の方策を具体的に考え、施設の活性化について具体策を提案したい。

私たちが考えた活性化のためのキーポイントは以下の3点である。

- ① 施設の認知度の向上
- ② 若者の来客数の増加
- ③ 外国人観光客の誘致



2. 旅籠とは

旅籠という言葉は、江戸時代の旅に使用した馬の飼料を入れる籠がその由来である。それから、旅人の食糧等を入れる器を意味するようになり、転じて宿屋で出される食事の意味になった。その後、食事を提供する宿屋のことを旅籠屋、略して旅籠と呼ぶようになった。

江戸時代の街道には、宿場ごとに多くの旅籠があつて、武士や一般庶民の泊まり客で賑わった。次第に、接客用の飯盛女を置く飯盛旅籠と、飯盛女を置かない平旅籠に別れていた。現在でも、旧宿場町の同じ場所で昔のままに旅館を営んでいるところは数えるほどしかない。混雑時には相部屋が求められ、女性の旅客は難儀をしたとされる。

旅籠の規模で大旅籠、中旅籠、小旅籠と分類される。今回、活性化を目指す柏屋は大旅籠とされている。¹

3. 大旅籠柏屋の概要

大旅籠柏屋は、現在、岡部宿公園となっている本陣跡地に隣接している。

近くには、静岡では有名な酒造会社のひとつである「初亀醸造株式会社」がある

大旅籠柏屋の建物は、1820年の文政年間と、1834年の天保年間の過去に2度ほど大火に見舞われており、現在の建物は3代目の建物となっている。² 1834年の大火を受け、1835年10月19日に上棟し、翌年の1836年4月11日頃に完工したとの記録が残されている。再建に要した費用の内訳などの詳細な記録も存在している。³

現在、旅籠内ではボランティアガイドが柏屋の歴史、建物の造りになどについて説明してくれる。また、1998年に国の登録有形文化財に認定された。柏屋が公開されたのは、2000年11月頃からである。

4. その現状と課題

四季ごとにイベントが開催され、その内容も工夫されている。冬期限定のイルミネーション等もあり、来場者の目をたのませている。

この施設は、2000年に公開されたのでとても綺麗である。しかし、近くの駐車場にある大旅籠柏屋の看板が廃れているのは改善を要する。春のひな祭りや夏祭りの入場者数は多いが、それ以外の時期の来場者数が少ない為、一年を通して増やすことが課題である。

また、外国人への対応がほとんどされておらず、案内や説明も日本語表記のみとなっている。その為、外国人が来場したとしても、この施設を理解し楽しむことが難しい。

イベントを多く開催しているものの、藤枝市民の知名度自体が低い。また、イベントに参加するお客さんは高齢者や地域の方が多く、若者の参加者が少ない。

¹ ja.m.wikipedia.org/wiki/岡部宿 2017. 10.19 閲覧

² Ja.m.wikipedia.org/wiki/旅籠 2017. 10.19 閲覧

³ www.surugawan.net/guide/28.html 2018.1.13 閲覧



・ 柏屋の駐車場にある看板が
廃れている。

5. 具体的な改善策(案)

5-1. 認知度の向上に向けて

案① 地域の大学などと連携してパンフレットを造り、広く配布する。

大学に依頼することで、経費も比較的抑えられる。ゼミ研究などで学生対象に調査を依頼する。

案② 駅前等のイベントで柏屋のブースを作り、柏屋の説明などを行い宣伝する。

案③ 興味深いイベントをさらに多く企画する。

新イベント案

1) お化け屋敷

会場を柏屋で行い、会場装飾を地域の方々に協力してもらう。地域の子供たちを対象に行く。岡部の夜は明かりが少なくとても怖い。

2) バーベキュー（BBQ）の会場として柏屋を使う

中庭などに設備を設け、BBQ会を開催する。集団で行うので、人が集まり賑やかになる。

3) 凧あげ大会

地域の子供、高齢者を対象に凧あげを定期的で開催することで、自然に子供の集まり場となることを狙う。

4) フリーマーケット

地域の方々の協力で開催する。同時に柏屋もブースを設け、来場者に施設概要の説明などを行う。

5) 星を見る会

岡部の夜空はとても綺麗なので、星を眺める会を開催する。秋冬に空気が澄んで星がきれいに見ることができる時期に企画する。

6) お月見会

星を見る会と同様、月を見る会を開く。餅つき大会なども同時に行い、団子なども提供できればよい。

7) マラソン大会

蓮華寺池公園を貸し切り、マラソン大会を開催する。経路やゴール等で柏屋のエリアを作り、柏屋の認知度向上を図る。または、柏屋周辺をマラソンコースの経路やゴールに利用し、認知度を上げる。(マラソンではなく、ウォーキング大会でも可)

8) 初亀酒造の日本酒飲み比べ大会

初亀酒造に提供していただき、日本酒の飲み比べを柏屋で実施する。初亀酒造のお酒を認知してもらうとともに、柏屋を堪能してもらう。

5-2. 若者の来客数の増加

案④ 小中学校でのイベントチラシ配布、クーポン券の発行。

案⑤ 柏屋の *instagram* など SNS のアカウントを作成し、若者対象にイベントなどの情報を拡散させる。

5-3. 外国人観光客の誘致

案⑥ 外国人向けに、多言語のパンフレットを作成し、静岡空港などで積極的に配る、または、案内所等に置いておく。JR 静岡駅、日本語学校など外国人が集まる場所でパンフレットが入手し易いように配布しておく。外国人スタッフを起用することも有効であろう。

8. まとめ

私たちは柏屋について研究を進めるに従って、この施設の重要性を深く理解していった。このような過去の歴史の面影を伝える素晴らしい施設が、来場者数が少なく、また認知度が低いことに大きな疑問を感じた。毎月のイベントに加えて、藤枝市の食材を用いた料理などがあれば、ひとつの魅力となる。この施設を、まず多くの藤枝市民の方々に知ってほしいとの思いが、研究を進めるごとに増していった。

この研究の成果と発表が、藤枝市民をはじめとして、多くの人々にその魅力が知られることの契機となれば、望外の喜びである。

以上